

児童発達支援事業所における自己評価結果（公）

公表：令和 3年 3月 3日

事業所名 すこやか教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		①療育コーナー・個別訓練・感覚運動スペースなどきちんと確保している	
	2	職員の配置数は適切である	6		①人数は適切。曜日や行事等で配置人数を考慮している	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		①写真や視覚支援を使い表示している ②バギー車椅子でも参加できるように対応している ③床もクッション製のある物にしておりセラピーマットは防災を使っている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		①運動・遊び・個別の部屋と用途に合わせ明確に表示されている ②部屋も明るく清潔感あり広い空間が子供には心地よい環境になっている ③コロナ禍の中で入口。外窓の適切な開放、1日2～3回のドアノブ、机、椅子消毒を実施し清潔に保っている	①トイレ・手洗いの配置が気になる。トイレ誘導は時間差で声かけし混雑を少なくするようにしている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		①アンケートを実施し、意見に対しての話し合いも行い、要望に少しでも寄り添えるように配慮している	①改善する点は改善しこちらの主旨がきちんと伝わっていない時は保護者と十分に話し合いを持つようになっている
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2	①保護者には紙媒体で渡している	①職員間で話し合いを持ち質の向上に努め、対応できるところは改善するようにしている 市のホームページには今後公開する予定
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		①コロナ禍により今年度は研修が制限されオンライン、対面で数回受けた	

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		①保護者のニーズと共に現在の子ども様子を把握してすぐに取り組むべき事を主に計画を立てている	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		①職員間での共通理解をもつ為にもベースになるものを教室内で作っている	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		①計画相談やセルフプランなど保護者のニーズを参考にしながら個別支援計画を作成している	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		①計画に沿った支援を意識しその都度子どもの様子も観察しながら支援をしている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	①朝の朝礼時に一日の流れを全職員が共有できるようにしている	①年令や子どもの成長にあった活動を考えている
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		①メリハリをつけて、少しずつ活動内容を考えている	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6		①一日の中に個別の時間（1対1）と集団活動の時間を取り入れている 動と静の活動を組み合わせている	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	①朝礼時に一日の流れを職員全員で共有し役割を分担する	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		①記録の際に一日の終りに振り返り気づいた点は職員間で共有している	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		①一日の終わりに振り返りで個々に記録することでそれぞれ気づいた点を話す	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	1	①大体は半年に1回見直しをしているが子どもの状況に応じてはその都度追加見直しをしている	①細やかな支援ができるように定期的に保護者との面談の時間を作っていきたい	

関係機関や保護者との連携

21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		①大体は児童発達支援管理者や担当者が参加し当教室での子どもの状況、課題等を伝え今後の望ましい姿を共有し他職員に伝えている	
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		①利用している市町の保健師や通園している保育園とは連携をとっている	①希望があれば保健師さんと通園している連携を取り見学等にも行く
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	1		
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	1		
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	①契約時に情報提供承諾書を書いてもらっている 市町によって違うが移行支援会議などに参加している	
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		①就学前の移行支援会議で情報共有スームズな小学校入学へとつなげている	①サポートブックの記入をしてもらう ②今年度は5回コースでオリジナルサポートブック作りを計画する
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	①特別に研修は受けていない ②他の自発とは連携を図りながら情報を共有する様にして支援の方法を一本化している	
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6		
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	2	①定期的に児童発達支援管理責任者が参加している	
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		①母子通園の事業所なので常に子どもの状態や様子などは同じ空間にいるので共有できている 保護者との信頼関係に努めている	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6		①ペアレントトレーニングではないが子どもとの関わり方について単発で保護者勉強会を行っている。	①定期的に保護者勉強会を計画していきたい

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	2	①契約時に児童発達支援管理責任者が説明をし不明な点は質問して下さいと伝える	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	1	①保護者からの聞き取り個別支援計画の案を作成し職員間で共有し話合った後個別支援計画を作成する 内容を保護者に説明し署名捺印をしてもらい、コピーして保護者に渡している	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		①まずは保護者との信頼関係を作り、ゆっくり話ができる環境設定を心がけている	①定期的に個別面談の時間を確保していきたい
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6		①不定期的だが保護者の情報交換・リフレッシュタイムを設けており、参加した保護者にも好評	①子どもの状況をみながら保護者座談会を2か月に1回程計画していきたい
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		①全職員で共有し対応について検討していく	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		①毎月おたよりを発行している 緊急時はプリント配布や掲示板に貼り出しにしている	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		①職員に秘密情報の保持に関する誓約書を書いてもらい口頭でも注意している 個人ファイルについては鍵のかかるキャビネットに保管している	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		①子どもに関しては視覚支援などを使い、保護者に関しては信頼関係を作り何でも相談できる雰囲気づくりに心がけている	①保護者同士の座談会を定期的に行い情報交換の時間を確保していきたい
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6			
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	1	①職員は施設で実施される避難訓練に年2回参加している。利用者の訓練はできていないので紙芝居やお話で対応している	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	①施設内の避難訓練以外でその他の訓練として 応急手当講習会を保護者向けに9月に実施している	①防災頭巾を実際に使って体験させ教室内の訓練を検討している
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		①保護者との面談やフェイスシートで本児の状況を把握している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	4	①聞きとり時やフェイスシートで記入してもらいアレルギーの有無を確認している	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	3	①全職員で危険箇所については共通理解	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		①県の虐待についての出前講座を職員全員受講した	①利用者様への言葉遣いや身体的な関わり方など丁寧に行っている
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		①入口の施設については保護者に説明し理解をしてもらう	①今はコロナ禍なので入口のドアは換気重視で飛び出し対策を取りつつ職員も目を見張り意識している。保護者の出入り時は職員への声かけを今一度徹底する